

3205 318

大正天皇實錄 卷六十六

圖書寮	
冊號	64047
冊數	97
冊號	秘 4

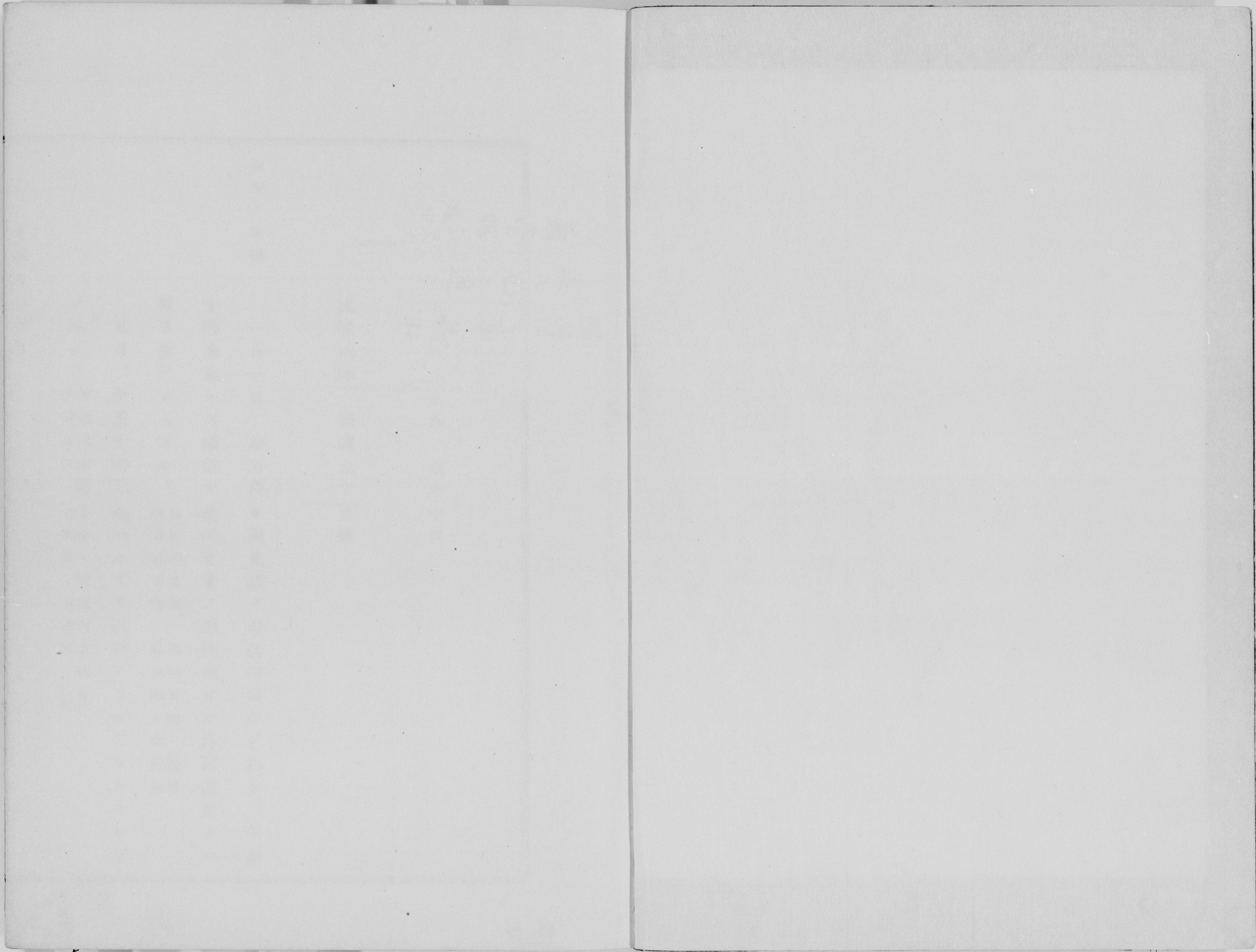


手  
上  
二  
ヶ  
處  
素  
一  
才  
之  
結

御

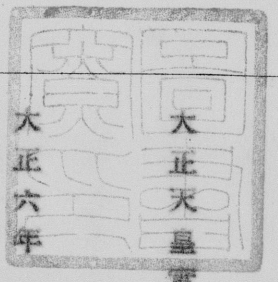
3205 319

出  
散  
御  
上



上  
御  
素  
上  
御  
上

3205 320



大正天皇實錄 卷六十六  
大正六年 寶算三十九歲

新年ノ諸儀

一月一日、四方拜。歳旦祭。晴御膳例年ノ如シ。午前  
十時皇族。大勳位。親任官等ノ群臣竝ビニ外國使臣ノ拜  
賀ヲ受ケサセラル。侍從職日記。典侍日記。侍從  
三日、午前十時元始祭ニヨリ親祭アラセラルルコト恒  
ノ如シ。侍從武官府日記。祭禮錄。侍從職日記。  
典侍日記。祭禮錄。侍從職日記。

大正六年一月

トニケル  
祭  
素  
ノ  
タ  
ハ

御  
上  
林

3205 321

大正六年一月

二

政始

新年宴會

是ノ日、雍仁親王。宣仁親王。博義王。博忠王。武彦王。恒憲王。春仁王等未成年皇族ニ謁ヲ賜フ。侍從職日記

四日、午前十時内閣ニ臨御、政始ノ式ヲ行ハセラルル事恒例ノ如シ。侍從職日記・侍從武官府日誌・侍從武官府日誌・儀式録・官報

五日、新年宴會ニヨリ親王。王。大勳位。親任官。勅任官。外國使臣等ヲ召シ、宴ヲ賜フコト恒例ノ如シ。侍從職日記・侍從武官府日誌・儀式録・官報

是ノ日、依仁親王。成久王。邦彦王ヲ始メ、侯爵松方正義。内閣總理大臣伯爵寺内正毅。海軍大臣加藤友三郎ニ謁ヲ賜フ。爾後、皇族。元老。大臣等ニ謁ヲ賜フコト屢々。

圖書寮

陸軍始

御講書始

ナリ。侍從職日記

八日、陸軍始ニヨリ午前十時御出門、宮城前外苑ニ臨御、觀兵式ヲ行ハセラレ、十一時十五分還幸アラセラルル。侍從職日記・侍從武官府日誌・儀式録・官報

九日、午前十時鳳凰閣ニ出御、御講書始ヲ行ハセラルル。學習院教授松本愛重ヲシテ續日本紀「元明天皇即位詔」一節「ヲ、東京帝國大學名譽教授男爵穂積陳重ヲシテ「すちにありぬす帝ノ立法事業」ヲ、正五位土屋弘ヲシテ「中庸解説」ヲ進講セシメラル。侍從職日記・侍從武官府日誌・儀式録・官報

大正六年一月

三

トニク  
放ニ  
素ノ  
御

(録事) 陸軍始

大正六年一月

二

政始

新年宴會

是ノ日、雍仁親王。宣仁親王。博義王。博忠王。武彦王。恒憲王。春仁王等未成年皇族ニ謁ヲ賜フ。侍從職日記

四日、午前十時内閣ニ臨御、政始ノ式ヲ行ハセラルル事恒例ノ如シ。侍從職日記・侍從武官府日記・侍從職日記・侍從日記・儀式録・官報

五日、新年宴會ニヨリ親王。王。大勳位。親任官。勳任官。外國使臣等ヲ召シ、宴ヲ賜フコト恒例ノ如シ。侍從職日記・侍從日記・侍從武官府日記・儀式録・官報

是ノ日、依仁親王。成久王。邦彦王ヲ始メ、侯爵松方正義。内閣總理大臣伯爵寺内正毅。海軍大臣加藤友三郎ニ謁ヲ賜フ。爾後、皇族。元老。大臣等ニ賜謁ノコト屢

圖書寮

陸軍始

御講書始

ナリ。侍從職日記

八日、陸軍始ニヨリ午前十時御出門、宮城前外苑ニ臨御、觀兵式ヲ行ハセラルレ、十一時十五分還幸アラセラルル。侍從職日記・侍從武官府日記・侍從日記・儀式録・官報

九日、午前十時鳳凰閣ニ出御、御講書始ヲ行ハセラルル。學習院教授松本愛重ヲシテ續日本紀「元明天皇即位詔」一節「ヲ、東京帝國大學名譽教授男爵種積陳重ヲシテ「抄」すちにあしぬす帝ノ立法專業」ヲ、正五位土屋弘ヲシテ「中庸解説」ヲ進講セシメラル。侍從職日記・侍從武官府日記・儀式録・官報

大正六年一月

三

慶應義塾等  
ニ賜金

英照皇太后  
二十年式年  
祭

是ノ日、前第六戰隊司令官海軍中將野間口兼雄ニ賜フ  
 賜ヒ、服務中ノ狀況ヲ察開アラセラル。侍從職日記・侍  
從武官府日記

十日、慶應義塾ニ金參萬圓ヲ賜フ。因ニ同義塾從來ノ  
 事業ヲ擴張スルヲ以テナリ。後、十一月五日私立東洋大  
 學ニ金五百圓ヲ賜フ。乃チ同校ニ於テ哲學・文學其ノ他  
 高等學術。技藝ヲ教授シ、教育上裨益スル處勲カラザル  
 ニヨリテナリ。恩賜  
錄

十一日、英照皇太后二十年式年祭ニヨリ御親祭アリ。  
 華典宮地嚴夫ヲ勅使トシテ山陵ニ參向セシム。侍從職日  
記・侍從  
武官府日記・典侍日  
記・祭禮錄・儀式錄

内田大使ニ  
陪食ヲ賜フ

十二日、午前十時三十分露西亞國ニ赴任スル特命全權  
 大使子爵内田康哉ニ謁ヲ賜ヒ、竹間ニテ午餐ノ御催アリ  
 載仁親王。鳩彦王ヲ召シ、内田大使並ビニ外務大臣子爵  
 本野一郎。宮内大臣男爵波多野敬直。侍從武官長内山小  
 二郎。侍從長公爵藤司源通等ニ陪食ヲ賜フ。侍從職日記  
侍從武官府  
宣召錄・官報

十三日、午前十時三十分嵐風間ニ出御、不日歸國スル  
 露西亞國大使館附陸軍武官事務取扱陸軍大佐もれる並ビ  
 ニ新任同國大使館附陸軍武官陸軍大佐やぼんとつふヲ帶  
 同セル同國特命全權大使ばじーる。くるべんすきーヲ御

トニケ  
故ニ  
素ノ  
御

御

御

救恤

引見、尋イテ十一時海外ニ赴ク海軍機關大佐池田岩三郎、  
海軍中佐七田今朝一ニ謁ヲ賜フ。待從職日記・待從武官  
官報  
是ノ日、救恤ノ御沙汰アリ。本月上旬臺灣南投廳管内  
ニ地震アリシニヨリ、罹災者ニ救恤金千二百圓ヲ賜ヒ、  
更ニ待從伯雷清水谷實英ヲ遣シ、其ノ狀況ヲ觀察セシム。  
此ノ後、天災或ハ不慮ノ遭難。火災等ニヨル罹災者ニ救  
恤ノ恩召ヲ以テ金圓ヲ賜フ事尠カラズ。主ナルモノヲ列  
舉スレバ略々左ノ如シ。待從職日記・官報。

月日	事	由	救恤金
一月廿九日	北海道廳管内暴風雪		金千參百圓

圖書寮

福ヲ神ニ訂シ

二月十二日	北海道廳管内暴風ニヨル漁民遭難	金參百圓
同 十六日	千葉縣下暴風ニヨル漁民遭難	金參百五十拾圓
四月廿七日	長崎縣西彼杵郡神浦村假設劇場火災	金四百圓
五月廿二日	北海道廳管内暴風雪ニヨル漁民遭難	金參百圓
同 廿四日	米澤市火災	金四千圓
六月廿六日	北海道廳管内山火事ニヨル民家類焼	金七百圓
七月十三日	鹿児島縣下豪雨	金五百五十拾圓
九月十八日	臺灣總督府管内暴風雨	金千八百圓
十月 八日	東京・神奈川・千葉・茨城 一府三縣下暴風雨	金六萬貳千圓
同 廿日	京都・大阪・新潟・埼玉・奈良・靜 岡・宮城・福島二府六縣下暴風雨	金壹萬五百五十拾圓
同	朝鮮總督府管内暴風雨	金貳千貳百圓
十一月十二日	神戶縣下暴風雨	金四百圓
同 廿六日	鹿児島縣下暴風雨	金五百圓

トニケ  
故ニ  
素ノ  
ナリ

御

上棟

引見、尋イテ十一時海外ニ赴ク海軍機關大佐池田岩三郎。  
 海軍中佐七田今朝一ニ謁ヲ賜フ。待從職日記・待從武官  
 官報  
 官報

救恤

是ノ日、救恤ノ御沙汰アリ。本月上旬臺灣南投廳管内  
 ニ地震アリシニヨリ、罹災者ニ救恤金千二百圓ヲ賜ヒ  
 更ニ待從伯爵清水谷實英ヲ遣シ、其ノ狀況ヲ觀察セシム。  
 此ノ後、天災或ハ不慮ノ遭難。火災等ニヨル罹災者ニ救  
 恤ノ恩召ヲ以テ金圓ヲ賜フ事尠カラズ。主ナルモノヲ列  
 舉スレバ略々左ノ如シ。待從職日記・官報  
 恩賜金・官報

月日	事	由	救恤金
一月廿九日	北海道廳管内暴風雪		金千參百圓

圖書寮

福ヲ神ニ訂ビ

二月十二日	北海道廳管内暴風ニヨル漁民遭難	金參百圓
同 十六日	千葉縣下暴風ニヨル漁民遭難	金參百五十拾圓
四月廿七日	長崎縣西彼杵郡神浦村假設劇場火災	金四百圓
五月廿二日	北海道廳管内暴風雪ニヨル漁民遭難	金參百圓
同 廿四日	米澤市火災	金四千圓
六月廿六日	北海道廳管内山火事ニヨル民家焼燬	金七百圓
七月十三日	鹿兒島縣下豪雨	金五百五十拾圓
九月十八日	臺灣總督府管内暴風雨	金千八百圓
十月 八日	東京・神奈川・千葉・茨城 一府三縣下暴風雨	金六萬貳千圓
同 廿日	京都・大阪・新潟・埼玉・奈良・靜 岡・富城・福島二府六縣下暴風雨	金壹萬五百五十拾圓
同	朝鮮總督府管内暴風雨	金貳千貳百圓
十一月十二日	神戶縣下暴風雨	金四百圓
同 廿六日	鹿兒島縣下暴風雨	金五百圓

上棟

御トル



月日	事	由	救恤金
十二月廿六日	關西縣桐野炭礦瓦斯爆發		金千貳百圓
同廿八日	福奈川縣三浦郡三崎町火災		金五百五拾圓

軍艦沈没

十四日、海軍軍令部長海軍大將男爵島村速雄ニ賜フ賜ヒ、横須賀軍港碇泊中ノ軍艦筑波ハ俄然其ノ前部火藥庫爆發セル爲、忽ニシテ沈没セル趣ヲ報聞アリ。尋イデ侍從武官向井瀧一ヲ現場ニ遣シ、實況ヲ視察セシメ、殉職者海軍中尉谷川湛一以下百八拾八名ニ祭料並ビニ御菓子料ヲ賜フ。同艦ハ明治三十八年十二月吳海軍工廠ニ於テ建造セラレ、排水量一萬三千七百五十噸、馬力一萬九千馬力、速力二十節五ヲ有シ、十二吋砲四門、六吋砲十

圖書寮

帝範ノ御進講

二門ヲ備フ。因ニ其ノ進水式ニハ皇太子トシテ親シク臨マセラレタリ。侍從武官府日誌・恩賜錄

十五日、午後一時三十分宮内省御用掛小牧昌業ヲシテ帝範ヲ進講セシメ、宮内大臣男爵波多野敬直以下側近奉仕者ニ陪聽ヲ賜フ。二十二日モ亦同ジ。侍從職日記

侍從武官差遣

是ノ日、侍從武官中田鐵五郎ヲ陸軍軍醫學校學生卒業式場ニ遣シ、優等卒業學生ニ賞ヲ賜フ。此ノ後、恒例ノ卒業式・修業式其ノ他演習等ニ侍從武官長或ハ侍從武官ヲ遣サルルコト屢々アリ。表示スレバ略々左ノ如シ。侍從武官府日誌・官報

トニテ...

御

3205 327

大正六年一月

月日	差遣先	差遣武官
一月廿五日	陸軍戸山學校修業式	尾藤知勝
同	第六師團幹部演習旅行	渡邊爲太郎
同 廿七日	軍艦日向進水式	向井彌一
二月十九日	第十一師團幹部演習旅行	中田鐵五郎
三月 七日	第二海軍志願兵徵募區	向井彌一
同 十日	廣兵衛	渡邊爲太郎
同 廿日	陸軍野戰砲兵射擊學校修業式	同
同 廿四日	兵站部演習旅行	同
同 卅日	陸軍步兵學校修業式	中田鐵五郎
同 卅一日	陸軍重砲兵射擊學校卒業式	尾藤知勝
四月 七日	東京衛戍大射擊會	中田鐵五郎
同 十四日	朝鮮陸海軍部隊	侍從官長 內山小二郎
五月十二日	參謀本部戰史旅行	渡邊爲太郎

圖書寮

一〇

大正六年一月

同 廿二日	軍艦富士運用術練習生卒業式	同	四憲孝輔
同 卅一日	海軍機關學校卒業式	同	尾藤知勝
六月廿日	第九師管下 軍艦千歲	同	四憲孝輔
同 廿九日	憲兵練習所修業式	同	中田鐵五郎
七月 四日	第十四師管下	同	渡邊爲太郎
同 十日	陸軍中央幼年學校豫科卒業式	同	向井彌一
同 十四日	陸軍軍醫學校卒業式	同	尾藤知勝
同 十七日	陸軍野戰砲兵射擊學校修業式	同	同
同 廿一日	陸軍砲兵射擊學校修業式	同	渡邊爲太郎
同	第十七師管下	同	尾藤知勝
同 廿三日	第二艦隊砲隊射及補隊射演習	同	四憲孝輔
同 廿五日	陸軍步兵學校修業式	同	渡邊爲太郎
同 廿七日	陸軍獸醫學校卒業式	同	尾藤知勝

一一

トク  
故  
素  
方

御

大正六年一月

同	月	日	差	遣	先	同
同	八月	四日	第三艦隊	戰術射擊演習	同	差遣武官
同	同	十四日	第二師管下		同	向井彌一
同	同	十五日	練習艦隊		同	渡邊爲太郎
同	同	廿一日	第一艦隊	戰術射擊演習	同	四寇孝輔
同	九月	十七日	特別工兵	演習	同	中田鐵五郎
同	十月	三日	特別重砲兵	演習	同	同
同	同	十五日	陸軍大學校	參謀演習	同	同
同	同	十九日	海軍小演習		同	向井彌一
同	同	廿日	第十三・第十四師團	對抗演習	同	尾藤知勝
同	十一月	廿日	橫須賀海兵團	卒業式	同	向井彌一
同	同	廿四日	海軍兵學校	卒業式	同	同
同	同	廿六日	海軍機關學校	卒業式	同	同

圖書寮

海軍機關

飛行機墜落  
差遣 侍從武官

同	同	同
同	十二月五日	吳鎮守府
同	同	同

十六日、海軍飛行機「い」十二號追濱ニテ墜落シ、操縦者海軍中尉從七位勳六等山村豐雄生命危篤ナルニヨリ、特ニ正七位ニ敘シ、勳五等雙光旭日章ヲ授ケ、侍從武官向井彌一ヲ遣シ、其ノ狀況ヲ觀察セシメ御菓子料ヲ賜フ。尋イテ豐雄死亡ニ當リ祭料ヲ下賜セラル。又三月八日ニハ所澤ニテ飛行機墜落シ、陸軍工兵中尉正七位勳六等澤田秀貞傷セルヲ以テ、從六位ニ敘シ勳五等雙光旭日章ヲ授ケラレ、侍從武官中田鐵五郎ヲ同地ニ遣シ、御菓子

大正六年一月

トニケテ  
故ニ  
素ノ  
子

御

3205 329

歌御會始

料ヲ賜ヒ、死亡スルニ及ビ祭乘料金百五拾圓ヲ賜ヘリ。  
 猶ホ同二十五日ニハ三河島村田端ニテ飛行機墜落シ、搭  
 乗者陸軍工兵中尉從七位勳六等杉野治義負傷セルニヨリ、  
 正七位ニ叙シ勳五等雙光旭日章ヲ授ケラレ、中田侍從武  
 官ヲ遣シ、御菓子料ヲ賜ヒ、尋イテ卒スルニ及ビ祭乘料  
 金百五拾圓ヲ賜ヘリ。侍從武官府日誌  
恩賜錄・官報  
 十八日、午前十時皇后ト俱ニ鳳凰閣ニ出御、歌御會始  
 ノ儀ヲ行ハセラレ、御題遠山雪ノ御製竝ビニ皇后ノ御歌  
 ヲ披講セシメ、詠進歌二萬六千餘首中ヨリ選バシメタル  
 和歌五首ヲ披講セシメラル。侍從武官府日誌  
詠・典侍日記・侍從武官府日誌  
御歌錄・官報

圖書寮

報

御製

雪白きふしのたかねのみゆるかな

かしこところの松のこすゑに

御歌

八洲の海こえてはるけきやまやまの  
 ゆきにもしるし御代の光は

十九日、午前十時三十分任地ニ赴ク西班牙國駐劄特命  
 全權公使阪田重次郎竝ビニ亞米利加合衆國駐劄大使館二  
 等書記官藤井實ニ謁ヲ賜フ。侍從武官府  
日誌・拜謁參拜錄・官報

トク素  
故ニ素  
素ノ方

御  
大

憲法御進講

是ノ日、午後一時三十分宮内省御用掛清水澄ヲシテ帝國憲法ヲ進講セシメ、宮内大臣男爵波多野敬直以下側近奉仕者ニ陪聽ヲ賜フ。爾後、屢々コノ事アリ。 侍從職日記・侍從武官府日誌・帝國憲法進講錄

高齡華族ニ物ヲ賜フ

二十日、八十歳ニ達セル正二位大勳位功一級公爵山縣有朋。正二位大勳位侯爵大隈重信。正三位勳一等男爵村出經芳、七十歳ニ達セル從二位勳一等功二級子爵大島久直。同男爵日高壯之丞。正三位勳一等功二級男爵土屋光春。同子爵實吉安純。從三位勳一等功三級男爵沖原光孚。同功四級男爵伊瀬知好成。從二位勳三等伯爵大原重朝。

圖書寮

衆議院ノ解散及ビ貴族院ノ停會

同伯爵萬里小路通房。從二位勳二等子爵加納久宜。從四位勳二等男爵近藤廉平。從三位勳六等男爵水谷川忠起。從三位內藤政憲。從五位林忠崇ニ御紋附銀杯竝ビニ酒肴料ヲ賜フ。 恩賜保證金錄・官報  
二十五日、帝國議會ニ内閣不信任案提出セラレタルヲ以テ詔書ヲ發シ、衆議院ノ解散及ビ貴族院ノ停會ヲ命ゼラル。 因ニ議會ニ於テハ對支問題ニ關シ憲政會、現内閣ノ支援ヲ拒絕シ、國民黨モ亦同内閣ノ超然主義ナルニ反對シ、是ニ兩黨竝ビニ公正會ノ一部聯合シテ是ノ日内閣不信任

トニク憲法ノ故ニ素ノ方ニ

御大

決議案ヲ上程。發議者大養毅其ノ趣旨ヲ説明シ、將ニ討  
議ニ入ラムトセルヲ以テナリ。待從武官府日誌。帝國議會錄。官報。  
二十六日、午前十時三十分海外ニ赴ク海軍大尉小柳喜  
三郎。副領事北條太洋、海外ヨリ歸朝セル海軍技師中野  
德郎。臨時臺灣總督府工部事務官松本卓爾ニ謁ヲ賜フ。  
尋イデ午後一時十五分海軍次官鈴木貫太郎ヲシテ「海軍  
軍政」ニ就キテ講演セシメラル。待從職日誌。待從武官  
報官。府日誌。拜謁參拜錄。  
二十七日、午前十時三十分表御座所ニテ教育總監陸軍  
大將一戸兵衛ニ謁ヲ賜ヒ、大正五年度教育ノ成績ヲ報聞

圖書寮

アラセラル。待從職日誌。待從武官府日誌。  
是ノ日、三菱合資會社長崎造船所ニ於テ軍艦日向ノ進  
水式舉行ニヨリ、依仁親王ヲ臨場セシム。爾後、皇族ヲ  
差遣セラルルコト左表ノ如シ。待從武官府日誌。皇親錄。官報。

月日	差遣	先
十一月廿四日	海軍兵學校卒業式	博 恭 王
同 廿六日	海軍機關學校卒業式	依仁親王
同 卅日	海軍藝術學校及海軍水雷學校卒業式	博 恭 王

二十九日、海外ヨリ歸朝セル陸軍中將福田雅太郎。大  
使館參事官田付七太。領事野村基信ニ謁ヲ賜フ。待從職  
日誌。

トク  
素  
御

決議案ヲ上程、説議者大養毅其ノ趣旨ヲ説明シ、將ニ討議ニ入ラムトセルヲ以テナリ。侍從武官府日記。帝國議會錄。官報。

二十六日、午前十時三十分海外ニ赴ク海軍大尉小柳喜三郎。副領事北條太洋、海外ヨリ歸朝セル海軍技師中野德郎。臨時臺灣總督府工事部事務官松本卓爾ニ謁ヲ賜フ。尋イテ午後一時十五分海軍次官鈴木貫太郎ヲシテ「海軍軍政」ニ就キテ講演セシメラル。侍從武官府日記。拜謁參拜錄。官報。

二十七日、午前十時三十分表御座所ニテ教育總監陸軍大將一戸兵衛ニ謁ヲ賜ヒ、大正五年度教育ノ成績ヲ觀聞

圖書寮

アラセラル。侍從武官府日記。侍從武官府日記。

是ノ日、三菱合資會社長崎造船所ニ於テ軍艦日向ノ進水式舉行ニヨリ、依仁親王ヲ臨場セシム。爾後、皇族ヲ差遣セラルルコト左表ノ如シ。侍從武官府日記。皇親錄。官報。

月日	差遣	先	差遣皇族
十一月廿四日	海軍兵學校卒業式	海軍	依仁親王
同廿六日	海軍機關學校卒業式	海軍	依仁親王
同卅日	海軍砲術學校及海軍水雷學校卒業式	海軍	依仁親王

二十九日、海外ヨリ歸朝セル陸軍中將福田雅太郎。大使館參事官田付七太。領事野村基信ニ謁ヲ賜フ。侍從武官府日記。

御  
トル

孝明天皇五十年式年祭

侍從武官府日記  
拜謁參拜錄・官報

三十日、孝明天皇五十年式年祭ニヨリ、御親祭アリ、  
掌典子爵園池實康ヲ勅使トシテ山陵ニ參向セシメラル。

典侍日記・宮内省省報・侍從職日記・侍從武  
官府日記・祭記錄・進退錄・官報・儀式錄

二月一日、午前十時五十分青島守備軍司令官陸軍大將  
大谷喜久藏。陸軍中將青木宣純等ニ謁ヲ賜ヒ、喜久藏ヲ  
シテ支那國山東方面ノ近況ヲ、宣純ヲシテ同國ノ狀況ヲ  
奏セシム。侍從職日記・侍  
從武官府日記

二日、御遊幸ノ爲メ午前九時二十五分皇后ト俱ニ御出  
門、十一時三十分葉山御用邸ニ著御、是ヨリ駐蹕月餘ニ

圖書寮

及フ。其ノ間ニ於ケル主ナル賜謁者ニハ皇太子裕仁親王。  
雍仁親王。宣仁親王。崇仁親王。載仁親王。依仁親王。  
博恭王。邦彦王。守正王。稔彦王ヲ始メ、元帥公爵山縣  
有朋。同伯爵東鄉平八郎。同子爵井上良馨。内閣總理大  
臣伯爵寺内正毅。陸軍大臣大島健一。農商務大臣仲小路  
廉。司法大臣松室致。文部大臣岡田良平。外務大臣子爵  
本野一郎。參謀總長陸軍大將男爵上原勇作。海軍軍令部  
長海軍大將男爵島村速雄。侯爵大隈重信。陸軍大將井口  
省吾。特命全權大使男爵林權助等アリ、或ハ重要國務ニ  
關シ、或ハ軍事外交ニ亘リ奏聞セシメ給フ。時ニハ侍從

トク  
放ニ  
素  
ナ  
ハ



武官長内山小二郎ヲシテ山縣。奥兩元帥ニ使セシメテ軍  
 事ノ諮詢アリ。御遊寒中ト雖モ政務ヲ忽ニシ給ハズ。二  
 月九日ニハ陸軍中將福田雅太郎ヲ召シテ、歐洲戰場聯合  
 各國ノ高等統帥ニ關シ講演ヲ爲サシメ觀開アリ。尋イデ  
 陸軍歩兵大尉侯爵前田利爲ヲシテ在佛蘭西國英軍戰線ノ  
 狀況ニ關シ、海軍少將森山慶三郎ヲシテじゅつとらんど  
 海戦後ニ於ケル海上作戦ノ經過ヲ、又陸軍少將菊池愼之  
 助ヲシテ在郷軍人ト國軍及ビ國民トノ關係ニ就キテ進講  
 セシメ給ヘル等ノコトアリ。更ニ二月十九日ニハ横須賀  
 御遊幸ニ託シテ親シク横須賀鎮守府ニ行幸アリ、横須賀

圖書寮

紀元節

鎮守府司令長官海軍中將依仁親王ヲ始メ同參謀長海軍少  
 將水田泰次郎。横須賀海軍工廠長海軍中將田中誠秀等ニ  
 謁フ賜ヒ、工廠並ビニ軍艦山城ニ臨御アリ、更ニ追濱航  
 空隊造兵部等ニモ立寄ラセ給ヒ、終日軍事御視察ニ過サ  
 セラレタリ。其ノ他御慰ニハ立石御休所。油壱。三崎臨  
 海試驗所等ニ御遊幸アリ。侍從職日記・典侍日記・侍從  
 武官府日誌・幸啓錄・官報  
 十一日、紀元節祭並ビニ饗宴ヲ行ハセラルルコト恒ノ  
 如シ。因ニ昨十日午前十一時二十分葉山御用邸ヨリ還御  
 アリ、尋イデ翌十二日再ビ葉山御用邸ニ行幸アラセラレ  
 タリ。侍從職日記・典侍日記・幸啓錄・官報

トニテ  
素ノ方  
ハ

三田守真逝

十二日、宮内省御用掛從四位勳二等三田守真病篤キニヨリ、特旨ヲ以テ位一級ヲ進メ正四位ニ敘セラル。其ノ逝クヤ祭料金貳千圓ヲ賜ヒ、尋イデ十五日送葬ヲ行フニ當リ侍從大炊御門家政ヲ勅使トシテ其ノ邸ニ遣シ幣帛ヲ賜ヘリ。守真、明治十九年二月學習院教授ニ任セラレ、爾來、東宮侍講ヲ歷テ現職ニ至ルマデ三十餘年勤績シ、勞績勲カラザリシヲ以テナリ。侍從職日記・恩賜錄・官報

是ノ日、侍從武官尾藤知勝ヲ滿洲駐劄陸軍部隊及ビ旅順要港部ニ遣シ、軍隊。官衛及ビ艦船ノ狀況ヲ實視セシム。猶ホ此ノ後遣外部隊ニ侍從武官ノ差遣ヲ擧グレバ、

遣外部隊ニ侍從武官差遣

圖書寮

四月九日ニハ臨時南洋群島防備隊ニ向井彌一、七月七日ニハ北支那中支那駐在陸軍部隊及ビ青島守備軍並ビニ臨時青島防備隊ニ中田鐵五郎、八月二十八日ニハ在しんがばゝる第一特務艦隊及ビ在まるた島第二特務艦隊ニ四電孝輔等アリ。侍從武官府日記・恩賜錄・官報

十七日、祈年祭ニヨリ賢所。皇靈殿。神殿御代拜ヲ侍從子爵松浦靖ニ命シ、神宮ニ勅使トシテ掌典伯爵島丸光大ヲ參向セシム。猶ホ二十一日仁孝天皇例祭ニハ御代拜ヲ侍從子爵海江田幸吉ニ命セラレタリ。侍從職日記・典報官

トニク... 放ニ...

大

眞木長義 薨

三月三日、宮中顧問官海軍中將從二位勳一等男爵眞木長義病篤キニヨリ、特旨ヲ以テ位一級ヲ進メ正二位ニ叙シ、旭日大綬章ヲ加授セラル。其ノ薨ズルヤ祭料金貳千圓ヲ賜ヒ、尋イデ六日送葬ニ當リ侍從落合爲誠ヲ勅使トシテ其ノ邸ニ遣シ幣帛ヲ賜ヘリ。長義、明治三年六月軍艦日進艦長トシテ兵部省ニ出身、同四年四月海軍少佐ニ任ジ、累進シテ海軍中將トナリ、後、宮中顧問官ニ任ゼラレ、伏見宮別當・山階宮別當等ヲ兼ネ、貞愛親王・晃親王ヲ輔翼セシコト多年ニ及ビ、功勞鈔カラザリシヲ以テナリ。侍從職日記・官報・恩賜錄

圖書寮

がすり 米 國大使死去

御弔電 領ニ御弔電

ない と司令 長官ヲ御引見

九日、亞米利加合衆國特命全權大使じよーじ・ういるきんす・がすりー逝去セルヲ以テ、同國大統領うつどろー・ういるそんニ弔電ヲ發送アラセラレ、勅使トシテ侍從原恒太郎ヲ同國大使館ニ遣シ弔意ヲ表セシメ、十三日乗地三一教會ニテ葬儀ヲ行フニ當リ、守正王並ビニ妃伊都子ヲ天皇・皇后御名代トシテ遣シ花環ヲ賜フ。尋イデ軍艦吾妻ヲシテ其ノ遺骸ヲ本國ニ移送セシメ給フ。仍リテういるそん大統領モ亦同國亞細亞艦隊司令長官海軍大將おーすちん・えむ・ないとニ命ジ、其ノ謝辭ヲ傳奏セシム。即チ七月二十一日ないと司令長官、同國臨時代理

トク、素、才、候

3205 337

幸 葉山ヨリ還

大使ぼすと。はいいらしノ帶同ニテ参内スルヤ。午前十時三十分風風間ニ於テ御引見ノ後、正午豊明殿ニ貞愛親王。依仁親王ヲ召シ、午餐ヲ御催アリ、ないと司令長官。はいいらし臨時代理大使遊ビニ海軍大佐し。てい。グおるげるげさんぐ。同えい。あるとはいうす。海軍中佐えふ。えつち。ぶらむびー及ビ内大臣侯爵松方正義。内閣總理大臣伯爵寺内正毅。外務大臣子爵本野一郎等ニ陪食ヲ賜フ。侍從職日記。侍從武官府日誌。典侍日記。慶弔録。外交慶弔録。謁見録。官報。

十三日、午後一時四十五分皇后ト俱ニ葉山御用邸御出門。三時五十三分宮城ニ還幸アラセラル。猶ホ駐蹕中供

圖書寮

奉フ命セラレタル者ハ、宮内大臣男爵波多野敬直。宮内大臣秘書官上野季三郎。宮内書記官市來政方。同大木彝雄。同吉田平吾。内大臣秘書官日高秩父。同北村信篤。侍從武官長内山小二郎。侍從長公爵鷹司兼通。侍從次長伯爵徳川連孝。皇后宮大夫男爵大森鍾一。皇后宮主事三室戸敬光。同峰須賀正昭。侍從日根野要吉郎。同原恒太郎。同子爵松浦靖。同大炊御門家政。同子爵海江田幸吉。同河崎實英。同伯爵清水谷實英。同男爵澤宣元。同落合爲誠。同子爵松平慶民。同男爵徳川義想。同石山基陽。同子爵黒田長敏。侍從武官尾藤知勝。同中田鐵五郎。同

上ヶ森、寺ハ、本、放ニ





統編任シタリシ以來貴國ヲ承ルニ友邦ノ誠意ヲ以テ  
 シ事ニ過フ時ハ相贊助ス兩國ノ親密ヲ徹スルニ足レ  
 リ邦交加フルコトアリテ巴ムコト無シ本大總統甚タ  
 欣悅ト爲ス茲ニ本大總統素ヨリ佩帶スル所ノ最高大  
 勳章一座ヲ將テ特ニ貴大皇帝陛下ニ贈リ竝ニ本總統  
 ノ素ヨリ親信スル所ノ前交通總長汪大燮ヲ特派シ贈  
 ル所ノ大勳章ヲ親シク齎ラシテ貴國ニ前赴セシメ面  
 ノアタリ貴大皇帝陛下ニ呈シ以テ格外欽慕ノ忱ヲ表  
 セシメ竝ニ本大總統友好ノ誠意ヲ將テ代リテ面達ヲ  
 爲サシメ尙ホ祈リテ貴大皇帝陛下ノ嘉納セララルヲ

圖書寮

汪特派大使  
等ニ陪食ヲ

大正六年三月

三三

幸ト爲ス特ニ茲ニ書ヲ具シテ奉達シ貴大皇帝陛下ノ  
 政府安泰ト國運熾昌トヲ願頌ス  
 蓋シ右親書ニ據リテ勳章贈進ノ誠意ヲ量リ得ベシ。既ニ  
 シテ捧呈ノ儀畢ルヤ、隨員國務院參議劉崇傑。平政院評  
 事楊彥潔。陸軍少將馮耿光。海軍上校陳復。總領事官孫  
 士頤。外交部僉事沈成鵬。陸軍憲兵中佐余晉齋。公使館  
 三等秘書官郭左淇。主事陸宗翰ヲ御引見アリ、尋イデ御  
 陪食ニ先ダチ西一ノ間ニ於テ汪特派大使ニ勳一等旭日桐  
 花大綬章ヲ贈與アラセラレタルヲ始メトシ、其ノ隨員等  
 ニ勳章ヲ賜スコト蓋アリ。午後零時三十分豐明殿ニ出御、

統編任シタリシ以來貴國ヲ承ルニ友邦ノ誠意ヲ以テ  
 シ事ニ過フ時ハ相贊助ス兩國ノ親密ヲ徵スルニ足レ  
 リ邦交加フルコトアリテ已ムコト無シ本大統領甚ダ  
 欣悦ト爲ス茲ニ本大統領素ヨリ佩帶スル所ノ最高大  
 勳章一座ヲ將テ特ニ貴大皇帝陛下ニ贈リ竝ニ本總統  
 ノ素ヨリ親信スル所ノ前交通總長汪大燮ヲ特派シ贈  
 ル所ノ大勳章ヲ親シク齎ラシテ貴國ニ前赴セシメ面  
 ノアタリ貴大皇帝陛下ニ呈シ以テ格外欽慕ノ忱ヲ表  
 セシメ竝ニ本大統領友好ノ誠意ヲ將テ代リテ面達ヲ  
 爲サシメ尚ホ祈リテ貴大皇帝陛下ノ嘉納セラルルヲ

圖書寮

大

汪特派大使  
等ニ陪食ヲ

幸ト爲ス特ニ茲ニ書ヲ具シテ奉達シ貴大皇帝陛下ノ  
 政府安泰ト國運熾昌トヲ願頌ス  
 蓋シ右親書ニ據リテ勳章贈進ノ誠意ヲ量リ得ベシ。既ニ  
 シテ捧呈ノ儀畢ルヤ、隨員國務院參議劉崇傑。平政院評  
 事楊彥深。陸軍少將馮耿光。海軍上校陳復。總領事官孫  
 士頤。外交部僉事沈成鵬。陸軍憲兵中佐余晉齋。公使館  
 三等秘書官郭左洪。主事陸宗翰ヲ御引見アリ、尋イデ御  
 陪食ニ先ダチ西一ノ間ニ於テ汪特派大使ニ勳一等旭日桐  
 花大綬章ヲ贈與アラセラレタルヲ始メトシ、其ノ隨員等  
 ニ勳章ヲ賜スコト差アリ。午後零時三十分豐明殿ニ出御、



午餐ノ御催アリ、載仁親王。博恭王ヲ召シ、汪特派大使以下隨員及ヒ支那國特命全權公使章宗祥。公使館附陸軍武官陸軍少將岳開先。公使館一等秘書官王鴻年。同二等秘書官周啓濂。同三等秘書官劉光謙並ビニ内閣總理大臣伯爵寺内正毅。宮内大臣男爵波多野敬直。外務大臣子爵本野一郎。侍從武官長内山小二郎。式部長官伯爵戸田氏共。皇后宮大夫男爵大森鍾一等ニ陪食ヲ賜フ。侍從職日記・侍從職武官府日記・典侍日記・外資參内録・外資接待録・官報

十八日、皇太子裕仁親王ニ謁ヲ賜フ。皇太子昨十七日沿津御用邸ヨリ遷啓セルヲ以テナリ。侍從職日記

圖書寮

樞密院副議長ノ更迭

二十日、表御座所ニ於テ親任式ヲ行ハセラレ、樞密院副議長ニ任ジ、問官從二位勳一等子爵清浦奎吾ヲ樞密院副議長ニ任ジ、樞密院副議長正二位勳一等伯爵芳川顯正ノ本官ヲ免ジ、特ニ旭日桐花大綬章ヲ授ケ、在官中ノ功ヲ嘉セラル。侍從職日記・官報

是ノ日、侍從武官長内山小二郎ヲ元帥公爵山縣有朋ノ小出原別邸ニ遣サル。侍從武官府日記

二十一日、春季皇靈祭ニヨリ親祭恒ノ如シ。侍從職日記・典侍職日記・侍從武官府日記・祭記録・官報

二十二日、午前十時四十分鳳凰閣ニ出御、英吉利國ニ

李坡公薨ズ

赴ク海軍中佐大湊直太郎、遠洋航海ニ赴ク練習艦隊乗員  
 海軍少將岩村俊武以下八十八名及ビ海外ヨリ歸朝セル海  
 軍大佐岩田秀雄。海軍軍醫中監小島政治。海軍中佐鈴木  
 乙免等ニ謁ヲ賜フ。侍從 職日記。侍從 武官府  
 日誌。拜謁 參拜 錄。官報

是ノ日、午後八時勅一等李坡公薨ズ。是ヨリ先危篤ノ  
 趣ヲ聞カセラルルヤ、葡萄酒壹打ヲ賜ヒテ存問アリ、四  
 月五日送葬ニ當リテハ特ニ儀仗ヲ附シ、軍艦ヲ仁川ニ派  
 シ其ノ儀ヲ嚴ナラシメ、且ツ朝鮮總督府武官海軍少將釜  
 屋六郎ヲ勅使トシテ其ノ邸竝ビニ祭儀場ニ遣シ、祭料。  
 幣帛及ビ神ヲ賜ヘリ。後、五月二十八日特旨ニヨリ李瑞

圖書寮

李錫ヲシテ  
榮錫ヲ賜ガ  
シム

黒田清綱薨  
ズ

公第二男子李錫ヲ以テ李坡公ノ繼嗣ト爲シ、其ノ榮錫ヲ  
 襲ガシメラル。恩賜 錄。王公  
 族 錄。官報

二十三日、午前十時三十分鳳凰閣ニ出御、遠洋航海ニ  
 赴ク練習艦隊乗員海軍中佐迎邦一以下八十四名及ビ特別  
 任務ヲ終ヘテ歸朝セル第二戰隊司令官海軍少將竹下勇以  
 下六名ニ謁ヲ賜フ。侍從 職日記。侍從 武官府  
 日誌。拜謁 參拜 錄。官報

是ノ日、臨時編纂部顧問宮内省御用掛樞密顧問官正二  
 位勳一等子爵黒田清綱病篤キニヨリ、旭日桐花大綬章ヲ  
 加授セラル。其ノ薨ズルニ及ビ祭料金參千圓。神ヲ賜  
 ヒ、尋イデ送葬ニ當リ勅使侍從子爵黒田長教ヲ邸ニ遣シ

皇  
親  
王

幣帛ヲ賜フ。清綱、維新ノ際山陰道鎮撫總督參謀ニ出身以來、數官ヲ歷任シテ現官ニ累進シ、又大正二年宮内省御用掛トナリ、御歌拜見ヲ仰付ケラルル等其ノ功績勲カ  
ラザリシヲ以テナリ。侍從職日記・恩賜錄・官報

二十六日、日本刀鍛冶御獎勵ノ恩召ヲ以テ、刀劍會ニ金七千圓ヲ賜フ。但シ金七百圓宛ヲ十ヶ年ニ分賜セラレ  
恩賜錄

二十八日、陸軍大將載仁親王ニ第一特命檢閱使ヲ、陸軍大將井口省吾ニ第二特命檢閱使ヲ命ズ。後、省吾ノ弟二特命檢閱使ヲ罷メ、元帥陸軍大將子爵川村景明ヲ以テ

載仁親王等  
ヲ陸軍特命  
檢閱使ト爲  
ス

圖書寮

軍  
旗  
制  
式  
ヲ  
審  
議  
セ  
シ  
ム

之ニ代フ。尋イデ七月十日其ノ覆奏ヲ觀開アラセラレ、千種間ニ於テ午餐ノ御儀アリ、貞愛親王。載仁親王ヲ召シ、元帥公爵山縣有朋。同伯爵奧保章。同伯爵長谷川好道。宮内大臣男爵波多野敬直。侍從長公爵鷹司照通。陸軍大臣大島健一。參謀總長陸軍大將男爵上原勇作。教育總監陸軍大將一戶兵衛。川村特命檢閱使及ビ其ノ屬員等ニ陪食ヲ賜フ。侍從職日記・侍從武官府日誌・宣旨錄・官報  
二十九日、午前十時四十分西一ノ間ニ出御、軍事參議官會議ニ臨マセラレ、軍旗制式ヲ審議セシメラル。侍從官府日誌

鈔  
金

載仁親王等  
ヲ陸軍特命  
檢閱使ト爲  
ス

幣帛ヲ賜フ。清綱、維新ノ際山陰道鎮撫總督參謀ニ出身以來、數官ヲ歷任シテ現官ニ累進シ、又大正二年宮内省御用掛トナリ、御歌拜見ヲ仰付ケラルル等其ノ功績勲カ  
ラザリシヲ以テナリ。侍從職日記。恩賜錄。官報。

二十六日、日本刀鍛冶御獎勵ノ恩召ヲ以テ、刀劍會ニ金七千圓ヲ賜フ。但シ金七百圓宛ヲ十ヶ年ニ分賜セラレ  
録恩賜

二十八日、陸軍大將載仁親王ニ第一特命檢閱使ヲ、陸軍大將井口省吾ニ第二特命檢閱使ヲ命ズ。後、省吾ノ弟二特命檢閱使ヲ罷メ、元帥陸軍大將子爵川村景明ヲ以テ

軍旗制式ヲ  
審議セシム

之ニ代フ。尋イデ七月十日其ノ覆奏ヲ觀開アラセラレ、千種間ニ於テ午餐ノ御儀アリ、貞愛親王。載仁親王ヲ召シ、元帥公爵山縣有朋。同伯爵奧保肇。同伯爵長谷川好道。宮内大臣男爵波多野敬直。侍從長公爵藤司照通。陸軍大臣大島健一。參謀總長陸軍大將男爵上原勇作。教育總監陸軍大將一戶兵衛。川村特命檢閱使及ビ其ノ屬員等ニ陪食ヲ賜フ。侍從職日記。侍從武官府日誌。宣旨錄。官報。  
二十九日、午前十時四十分西一ノ間ニ出御、軍事參議官會議ニ臨マセラレ、軍旗制式ヲ審議セシメラル。侍從職日記。侍從武官府日誌。

宮中杖ヲ差  
許サル

智國公使  
ヲ

三十日、午前九時御出門、學習院ニ行幸、卒業證書授  
 典式場ニ臨御、優等卒業學生ニ賞ヲ賜ヒ、午後零時四十  
 分還幸アラセラル。侍從職日記。侍從武官府日記。  
 是ノ日、正二位公爵山縣有朋。同侯爵大隈重信。同伯  
 爵板垣退助。同伯爵樺山資紀ノ四名、老年ニヨリ特旨ヲ  
 以テ宮中杖ヲ差許サル。恩賜錄。官報。  
 三十一日、午前十時鳳凰閣ニ出御、露西亞國ヨリ歸朝  
 セル陸軍歩兵大佐福田彦助、同國ニ赴ク陸軍歩兵少佐廣  
 瀬猛ニ謁ヲ賜フ。尋イデ午前十一時再ビ鳳凰閣ニ出御、  
 智利國特命全權公使どん・ふらんしすこ・リダあすぶの

圖書寮

御引見

小牧昌業論  
語ヲ御進講

くニヤヲ御引見、信任狀ヲ受ケサセラル。侍從職日記。編  
 見録。官報。  
 四月二日、午後一時二十分宮内省御用掛小牧昌業ヲシ  
 テ論語ヲ進講セシメ、宮内大臣男爵波多野敬直以下側近  
 奉仕者ニ陪聽ヲ賜フ。爾後、屢々此ノコトアリ。侍從職  
 侍從武官  
 府日記  
 三日、神武天皇祭親祭恒ノ如シ。侍從職日記。侍從武  
 官府日記。典侍日記。  
 祭記録。官報。  
 四日、靜子内親王三十年式年祭ニヨリ、御代拜ヲ侍從  
 石山基陽ニ命ゼラル。侍從職日記。宮内省  
 省報。祭記録。官報。

第三艦隊司令長官更迭

六日、表御座所ニ於テ親補式ヲ行ハセラレ、海軍中將從四位勳二等功三級有馬良橋ヲ第三艦隊司令長官ニ補シ、第三艦隊司令長官海軍中將正四位勳二等功三級村上裕一ノ本職ヲ免ジ、海軍教育本部長兼海軍將官會議議員ニ補シ、特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フ。特從職日記・官報

是ノ日、午前十時三十分表御座所ニ出御、近衛師團長陸軍中將仁田原重行以下各師團長ニ謁ヲ賜ヒ、管下ノ狀況ヲ叡聞アリ、尋イデ載仁親王・博恭王ヲ召シ、千種間ニ於テ午餐ノ御催アリ、元帥陸軍大將公爵山縣有朋・同伯爵寺内正毅・同伯爵奥保章・同子爵川村景明・陸軍大

師團長等ニ陪食ヲ賜フ

圖書寮

米國聯合國ニ與シ參戰スルニヨリ大統領ニ親電ヲ御發送

臣大島健一。參謀總長陸軍大將男爵上原勇作。教育總監陸軍大將一戸兵衛以下各師團長。侍從武官長内山小二郎。侍從長公爵鷹司熙通等ニ陪食ヲ賜フ。特從職日記・侍從日記・官報

八日、是ヨリ先、二月五日亞米利加合衆國ト獨逸國トノ國交遂ニ斷絶セルノ趣ヲ外務大臣子爵本野一郎ヨリ叡聞アリシガ、是ノ日亞米利加合衆國、聯合國ニ與シ大戰ニ參加セルヲ以テ、左ノ親電ヲ大統領ウ。どろー。うい

朕ハ合衆國カ共ニ人道ノ大義ヲ擁護セムカ爲聯合國

國ニ與ミシ進テ戦争ニ加ハルニ至レルヲ見深ク欣快ニ勝ヘス閣下ノ眞摯ナル提唱ニ基ク合衆國ノ斯ノ舉措ハ亦以テ貴我兩國間ノ渝ラサル友情ヲ益々緊密ナラシムルニ至ラムコトヲ冀フ

是ニ於テウゐるそん大統領モ亦親電ヲ以テ之ニ答禮スル處アリ、十五日左ノ電報ニ接セラレタリ。

予ハ茲ニ陛下ノ熱誠ナル祝詞ヲ歡迎シ且ツ予ハ夙ニ吾人ノ民權ヲ擁護シテ吾人ノ自由ナル共和國ノ神聖ナル構造ヲ維持スルコトニ努力セル我國民ニ代リテ陛下ニ感謝ス西世界ニ於ケル吾人ハ今ヤ總テノ人類

圖書寮

ニ依リテ尊重セラルル自由及正義ノ大道ニ對スル擁護者ノ班ニ列スルヲ得タリ吾人ハ殘忍ナル一國カ企畫シタル霸權ノ獲得ニ對シ自主獨立ノ諸國ニ與ミシテ其事ヲ共ニスルコトヲ得ルハ吾人ノ誇トスル所ナリ人類ノ最大利益ニ對スル宿望ヲ完成スルカ爲ニ結合スヘキ精神ハ實ニ貴我兩國ヲ刺激セリ是レ即チ兩國ノ永久ナル提携ノ吉兆ナリ

因ニ亞米利加合衆國ハ、歐洲大戰ノ開始セララルヤ嚴正中立ヲ宣シ、専ラ戦況ヲ傍觀シ居タリ。然ルニ漸ク獨逸兩國ノ暴行邊シク、爲メニ國是ノ一タル平和主義ハ往々

ニシテ破壊セラルルニ當リ、猶ホ屢々警告ヲ與へ、或ハ  
 覺書ヲ交換シ、禍中ニ入ルヲ避ケント努メタリ。偶々獨  
 逸國、國際法規ヲ無視シ、無制限潜水艇戰ノ宣言ヲ敢行  
 スルニ及ビ、遂ニ獨逸國ニ戰ヲ宣シ聯合國ニ加ハレリ。

官報・外  
 交雜錄

九日、貞愛親王。載仁親王。恒久王妃昌子内親王。鳩  
 彦王妃允子内親王ヲ始メ元帥子爵井上良馨。司法大臣松  
 室致ニ謁ヲ賜フ。侍從職  
 日記

十一日、昭憲皇太后三年式年祭ニヨリ親祭アラセラレ、  
 華典長谷信道ヲ勅使トシテ山陵ニ參向セシメラル。侍從  
 職日記

圖書寮

小田切陸軍  
 少將ヲシテ  
 露軍ニ關ス  
 ル講話ヲ爲  
 ナシム

記。侍從武官府日誌。與侍日記。  
 儀式錄。榮記錄。進退錄。官報

十二日、午前十時三十五分鳳凰閣ニ出御、露西亞國ヨ  
 リ歸朝セル陸軍少將小田切政純、英吉利國ヨリ歸朝セル  
 海軍中佐東島猪之吉等ニ謁ヲ賜フ。尋イデ翌十三日小田  
 切陸軍少將ヲ召シ、露軍戰線實視ノ概況及ビ露軍ニ關ス  
 ル觀察ニ就キテ講演セシメ、侍從武官長内山小二郎以下  
 側近奉仕者ニ陪聽ヲ賜ヘリ。侍從職日記。侍從武官府  
 日誌。拜謁參拜錄。官報  
 十三日、午前十時三十分鳳凰閣ニ出御、支那國特命全  
 權公使章宗祥ノ帶同セル同國交通次長王獻煒及ビ前代理  
 交通次長交通部參事權量ヲ引見アラセラル。侍從職日記。  
 侍從武官府



觀櫻會ニ臨

日誌・謁見  
録・官報

十七日、午後二時三十分御出門、皇后ト俱ニ新宿御苑ニ行幸、觀櫻會ヲ催サセラル。其ノ御模様恒ノ如シ。五時五分還幸アラセラル。侍從職日記・侍從武官府日誌・觀櫻會録・官報

十八日、午後二時御苑内馬場ニテ近衛。第一兩師團在京士官ノ劍術ヲ觀覽アリ、十九日モ亦同ジ。猶ホ五月二十七日ニハ午後一時三十分ヨリ吹上御苑内假道場ニ於テ全國各地選出劍士ノ演武競技ヲ催サシメ、皇后ト俱ニ之ヲ觀覽アラセラレタリ。侍從職日記・侍從武官府日誌

二十三日、内務大臣男爵後藤新平。參謀次長陸軍中將

圖書寮

理化學研究所ニ賜金

田中義一。臺灣總督府陸軍參謀長陸軍少將有田恕ニ謁ヲ賜フ。侍從職日記・侍從武官府日誌・拜謁參拜録・官報

二十六日、午前十時三十分鳳凰閣ニ出御、特別任務ヲ帶ビ、亞米利加合衆國ニ差遣セラルル軍艦吾妻乘員海軍大佐新納司以下二十六名ニ謁ヲ賜フ。猶ホ翌二十七日ニモ亦同艦乘員海軍中佐松坂茂以下十四名ニ謁ヲ賜フ。侍從職日記・侍從武官府日誌・拜謁參拜録・官報

是ノ日、財團法人理化學研究所ニ金百萬圓ヲ賜フ。但シ一ヶ年拾萬圓宛十ヶ年ニ分賜セラル。同研究所ハ我が國産業ノ發達ニ資スル爲メ理化學ヲ研究シ、其ノ成績ノ

3205 351

模

大正六年四月

五〇

應用ヲ圖ルヲ目的トス。仍リテ新榮御獎勵ノ恩召ヲ以テ  
此ノ御沙汰アリ。恩賜 録

二十七日、午前十時三十分鳳凰閣ニ出御、露西亞國ヨ  
リ歸朝セル陸軍歩兵大尉長谷部照伍。陸軍一等主計正河  
内曉。陸軍歩兵大尉鴨岡光弘ニ謁ヲ賜フ。侍從職日記。侍從武官府日

黒木爲楨等  
ヲ樞密顧問  
官ニ任ズ

是ノ日、午前十一時表御座所ニ於テ親任式ヲ行ハセラ  
レ、陸軍大將正二位勳一等功一級伯爵黒木爲楨。海軍中  
將正三位勳一等男爵有地品之允ヲ樞密顧問官ニ任ズ。侍從職日記。官報

圖書寮

大正六年四月

五一

是ノ日、午後一時二十五分義ニ露西亞國ヨリ歸朝セル  
海軍中佐鈴木乙免ヲ召シ、同國海軍ノ近狀ニ就キテ講演  
セシメ、侍從長公爵鷹司無通以下側近奉仕者ニ陪聽ヲ賜  
フ。侍從職日記。侍從武官府日誌

録  
模

大正六年四月

五〇

應用ヲ圖ルヲ目的トス。仍リテ新樂御獎勵ノ思召ヲ以テ  
此ノ御沙汰アリ。恩賜 録

二十七日、午前十時三十分鳳凰閣ニ出御、露西亞國ヨ  
リ歸朝セル陸軍歩兵大尉長谷部照伍。陸軍一等主計正河  
内曉。陸軍歩兵大尉鴨脚光弘ニ謁ヲ賜フ。侍從職日記 侍從武官府  
拜録・拜謁參  
拜録・官報

是ノ日、午前十一時表御座所ニ於テ親任式ヲ行ハセ  
レ、陸軍大將正二位勳一等功一級伯爵黒木爲楨。海軍  
將正三位勳一等男爵有地品之允ヲ樞密顧問官ニ任ズ。  
職日記  
官報

黒木爲楨等  
ヲ樞密顧問  
官ニ任ズ

圖書

是ノ日、午後一時二十五分義ニ露西亞國ヨリ歸朝セ  
海軍中佐鈴木乙兎ヲ召シ、同國海軍ノ近狀ニ就キテ講  
セシメ、侍從長公爵鷹司無通以下側近奉仕者ニ陪聽ヲ  
フ。侍從職日記・侍  
從武官府日記

大正六年四月

五一

3205 353

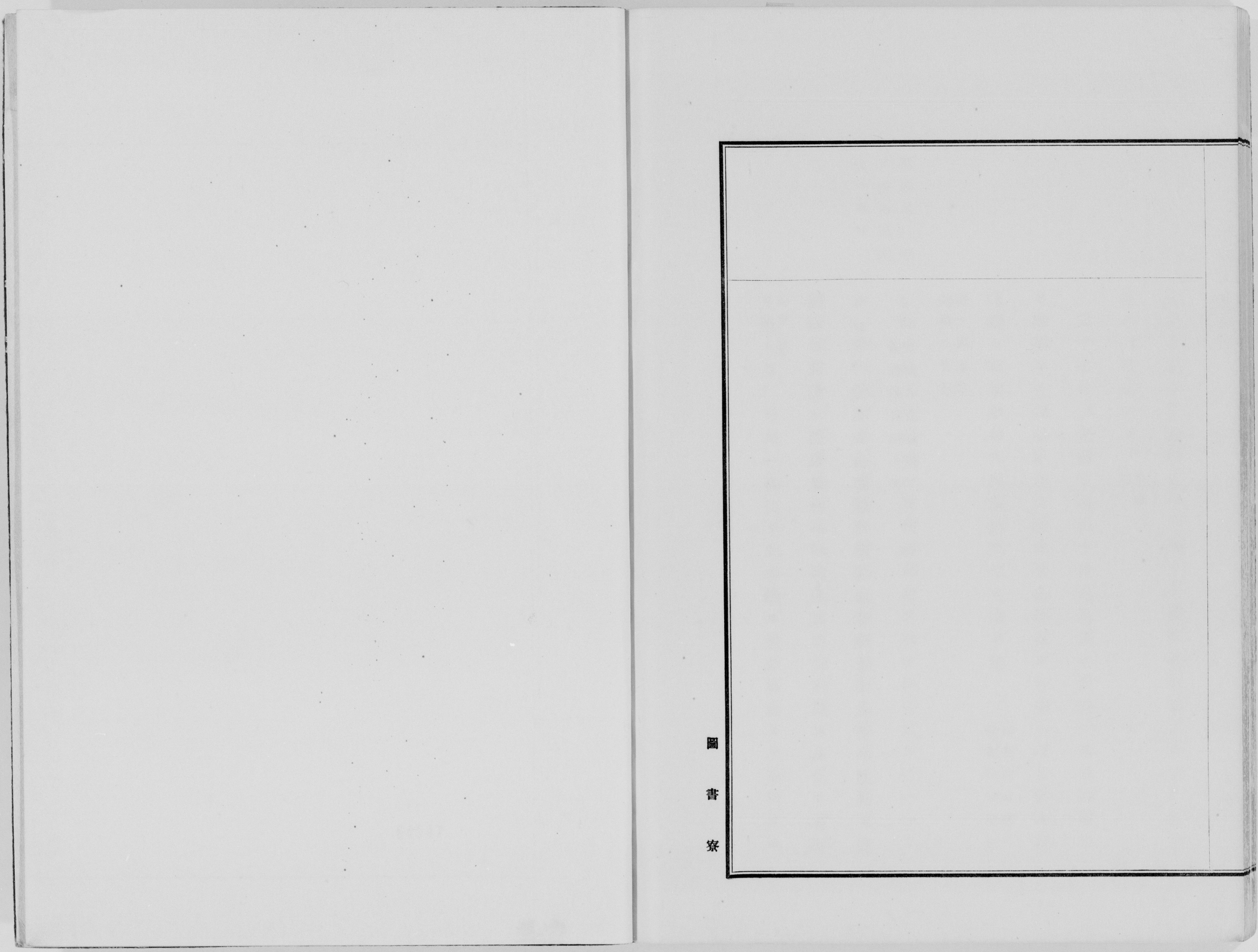


圖  
書  
寮

3205 354

64047

3205 355

